

平成26年度

教育委員会の事務の管理及び
執行状況に係る点検・評価報告書

野田村教育委員会

—目 次—

はじめに	1
「野田の教育」における主な取り組みと点検評価	2
1 野田村学校教育行政の実施状況	
4月の事業報告	3
5月の事業報告	4
6月の事業報告	5
7月の事業報告	6
8月の事業報告	7
9月の事業報告	7
10月の事業報告	8
11月の事業報告	8
12月の事業報告	9
1月の事業報告	9
2月の事業報告	10
3月の事業報告	11
2 生涯学習文化事業の実施状況	
(1) 生涯学習社会の形成	12
① 生涯学習推進体制の充実	12
② 生涯学習の普及奨励	12
(2) 魅力ある生涯学習の推進	13
① 家庭教育の支援	13
② 生涯各時期における学習活動の支援	14
③ 生涯学習文化指導体制の充実	17
(3) 個性ある芸術文化の創造	19
① 芸術文化活動の振興と環境整備	19
② 文化財の保護	20
3 野田村生涯スポーツ行政の実施状況	
(1) 生涯スポーツ推進体制の整備・充実	21

①	各種会議の開催	21
②	各種会議等への参加	21
③	広報活動の充実	22
(2)	スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進	22
①	スポーツ推進委員研修・会議	22
(3)	スポーツ・レクリエーション実践活動の促進	23
①	野田村民体育大会	23
②	各種スポーツ・レクリエーション大会	23
③	体育協会・スポーツ少年団の援助育成	26
(4)	社会体育施設の整備と活用促進	26

【参考】

	第26・27回野田村民体育大会順位結果	28
--	---------------------	----

はじめに

野田村では、毎年度「野田の教育」を作成・刊行し、当該年度の方針と計画を定めています。

この報告書は、「野田の教育」で定めた計画等がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の平成26年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に定める点検・評価結果の報告書となるものです。

報告書の構成

この報告書は、次の2つの事項で構成しています。

- ① 「野田の教育」における主な取り組みと点検評価に関するもの
- ② 教育委員会の会議及び主な活動状況を取りまとめたもの

「野田の教育」における主な取り組みと点検評価

項目	担当	評価
○ 野田村学校教育行政の方針と計画		
1 小中連携教育の推進	学 校 教 育 班	総合評価 ◎
(1) 学力向上対策の確立	学 校 教 育 班	○
(2) 生徒指導の充実	学 校 教 育 班	◎
(3) 教職員の資質向上	学 校 教 育 班	◎
(4) 国際理解関係事業の充実	学 校 教 育 班	◎
2 野田村小中学校連携教育推進会議	学 校 教 育 班	◎
3 野田村小中連携教育推進研修会	学 校 教 育 班	◎
4 野田村転入職員研修会	学 校 教 育 班	◎
5 野田村先進校等視察研修	学 校 教 育 班	◎
6 野田村小中高生徒指導連絡協議会	学 校 教 育 班	◎
7 野田村小中学校校長会議	学 校 教 育 班	◎
8 野田村就学指導委員会	学 校 教 育 班	○
9 村内教育相談	学 校 教 育 班	○
○ 生涯学習文化事業の方針と計画		
1 生涯学習社会の形成	生 涯 学 習 文 化 班	総合評価 ◎
(1) 生涯学習推進体制の充実	生 涯 学 習 文 化 班	◎
(2) 生涯学習の普及奨励	生 涯 学 習 文 化 班	◎
2 魅力ある生涯学習の推進	生 涯 学 習 文 化 班	総合評価 ◎
(1) 家庭教育の支援	生 涯 学 習 文 化 班	◎
(2) 生涯各時期における学習活動の支援	生 涯 学 習 文 化 班	◎
(3) 生涯学習文化指導体制の充実	生 涯 学 習 文 化 班	◎
3 個性ある伝統文化の創造	生 涯 学 習 文 化 班	総合評価 ◎
(1) 芸術文化活動の振興と環境整備	生 涯 学 習 文 化 班	◎
(2) 文化財の保護	生 涯 学 習 文 化 班	○
○ 野田村生涯学習スポーツ行政の方針と計画		
1 生涯スポーツ推進体制の整備・充実	生 涯 ス ポ ー ツ 班	総合評価 ◎
(1) 各種会議の開催	生 涯 ス ポ ー ツ 班	◎
(2) 各種会議等への参加	生 涯 ス ポ ー ツ 班	◎
(3) 広報活動の充実	生 涯 ス ポ ー ツ 班	○
2 スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活動促進	生 涯 ス ポ ー ツ 班	総合評価 ○
(1) 体育指導委員研修・会議	生 涯 ス ポ ー ツ 班	◎
(2) スポーツリーダー・ネームリスト	生 涯 ス ポ ー ツ 班	△
3 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進	生 涯 ス ポ ー ツ 班	総合評価 ◎
(1) 野田村民体育大会	生 涯 ス ポ ー ツ 班	◎
(2) 各種スポーツ・レクリエーション大会	生 涯 ス ポ ー ツ 班	◎
(3) 体育協会・スポーツ少年団の援助育成	生 涯 ス ポ ー ツ 班	◎
4 社会体育施設の整備と活用促進	生 涯 ス ポ ー ツ 班	総合評価 ◎

※評価・・・◎：（達成）

優れた取り組みや状況等がみられ、課題はほとんどなく、順調に目標が達成された。

○：（概ね達成）

良い取り組みや状況等がみられ、若干の課題はあるが、概ね順調に目標が達成された。

△：（やや達成が困難）

課題は少なからずあり、目標達成がやや順調でない、又は、一定の成果があったが新たな課題が生じた。

×：（達成が困難）

課題が多く、まだ改善に向けた取り組みに着手できていないか、着手してもほとんど成果が上がらないなど目標がほとんど達成できなかった。

1 野田村学校教育行政の実施状況

平成 26 年度 学校教育事業の成果と課題

○ 4 月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村転入職員 研修会 【総合センター】 (4月1日)	<ul style="list-style-type: none"> ○委員長あいさつ ○辞令交付 ○サービスの宣誓 野田中学校 校長 菊地 理 ○教育長激励のことば ○職員の紹介 <ul style="list-style-type: none"> 1 野田村立野田小学校 2 野田村立野田中学校 3 教育委員 4 教育委員会事務局職員 ○村長講話「野田村について」 ○村内めぐり <ul style="list-style-type: none"> ・野田村観光協会による震災ガイド ・村内主要施設の見学 	<ul style="list-style-type: none"> ○村長講話では、震災後の復興状況や野田村の産業について説明いただくとともに、野田の教育に求めるものについて語っていただいた。 ○村内めぐりでは、震災ガイドから震災時の状況、復興の様子を丁寧に説明していただいた。
野田村生徒指導 連絡協議会① 【総合センター】 (4月9日)	<ul style="list-style-type: none"> ○平成26年度の事業計画の提案と確認 ○生徒指導年間指導計画の確認交流(小中高より) ○小中高における共通実践課題の設定について協議 「あいさつ運動」について取り組むことを確認 ○不適応児童生徒の実態と支援の方向性の確認 ○学校不適応(不登校)指導状況連絡票について ○学校事故、問題行動が発生した場合の事務手続きについて 	<ul style="list-style-type: none"> ○新年度の各校の生徒指導の取組について、確認することができた。
野田村小中連携 教育推進会議① 【総合センター】 (4月11日)	<ul style="list-style-type: none"> ○役員選出(委員長: 柏館副校長) ○小中連携教育の推進について <ul style="list-style-type: none"> ①平成26年度野田村小中連携教育推進計画について ②小中連携教育研修会について ③小中共同実践・合同実践について ○学力向上対策について <ul style="list-style-type: none"> ①平成25年度標準学力検査の結果考察と回復措置について ②平成26年度の各校の学力向上対策の具体的構想について ○各校の教務運営計画について ○各校の研究計画について ○その他 	<ul style="list-style-type: none"> ○新年度の小中連携教育の推進について共通理解を図ることができた。 ○新年度の学校運営にかかわる情報交換とともに、事業内容の確認ができた。
野田村小中学校 校長会議① 【総合センター】 (4月24日)	<ul style="list-style-type: none"> ○26年度事業計画についての確認 (学校教育、生涯学習文化スポーツ各班より) ○4月、5月の行事計画について報告及び確認 ○各校より、学校運営方針についての説明 ○その他 	<ul style="list-style-type: none"> ○新年度の学校経営について協議を深められた。

○5月の事業計画

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
<p>中1連絡会 【野田中学校】 (5月1日)</p>	<p>1. 授業参観 1年A組数学 授業者：柏木 暁 教諭 佐々木 祐介 教諭</p> <p>2. 連絡会 (1) あいさつ 教育長、菊地校長 (2) 中1担任から (3) 小学校の先生から (4) 交流</p>	<p>○授業参観により、入学1ヶ月後の生徒のようすをじっくりと観察することができた。</p> <p>○気になる生徒について、具体的に交流することができた。</p> <p>○現1年生は順調に過ごしている、発表や清掃を頑張っている等、順調に中学校生活に慣れていることを確認できた。</p>
<p>第1回特別支援教育支援員研修会 【野田中学校】 (5月2日)</p>	<p><参加者> 野田中学校支援員：沢里レイ子、岩崎江利子</p> <p>1. 講義 「特別支援教育支援員の役割について」 講師：岩手県立久慈拓陽支援学校 中野 喜美子 先生</p> <p>2. 交流・意見交換</p>	<p>○特別支援教育の概要の説明を受け、障がいの内容や生徒への対応、生徒のようすについて、理解していただいた。</p> <p>○1対1の授業で、生徒にわからないと言われると説明が難しい場合がある等、日頃の悩みを共有して交流することができた。</p>
<p>初任者研修(一般研修) 【総合センター・のだ窯ギャラリーIZUMITA】 (5月19日)</p>	<p><対象者> 野田小学校 教諭 高橋沙綾</p> <p>1 講話1 「新任教員に期待すること」※1 講師 教育長 大崎 英雄</p> <p>2 講話2 「野田村における教育課題」※2 講師 指導主事 坂本 有希</p> <p>3 体験活動 陶芸体験(野田焼)</p> <p>※1 教育長の初任当時の体験を交えながら講話 ※2 CRTや県学調アンケート等の資料をもとに課題について確認。生徒一人一人とのかかわり方についての講話。</p>	<p>○教育長の体験談とCRT、県学調アンケート等を資料に本村の教育課題について講話を行った。初任者に野田村の教育について理解させるとともに、地域文化の一端に触れさせることができた。</p>

野田村小中学校 校長会議② 【総合センター】 (5月20日)	1 5月の事業報告(事務局) 2 6月の事業計画について(事務局) 3 学校経営状況報告について(小・中) 4 6月の学校経営の重点について(小・中) 5 その他	○各校の運営状況の共有が図られた。
第1回野田村小中 連携教育研修会 (5月30日)	(午前) 1. 数学の授業参観(3年、平方根) 授業者: 柏木暁、佐々木祐介 2. 授業研究会 参加者: 柏木暁、佐々木祐介(中学校) 関上裕子、滝澤真貴子、高橋浩司(小学校) 立花正男准教授(助言者、岩手大学)、坂本 (午後) 3. 全体会 (1) あいさつ(大崎教育長、菊地校長) (2) 職員紹介 (3) 小中連携教育推進計画についての説明 4. 講演会 ・演題「岩手県の児童生徒の実態と授業改善の重要性について」 ・講師 岩手大学教育学部 准教授 立花正男氏 5. 部会研究会 【第1部会】主に学習習慣、学習指導の在り方について 【第2部会】主に生活習慣の改善、小中連携取組について	○新年度の研究推進体制を全体で確認するとともに、組織の確立、研究主題や計画について周知が図られた。 ○立花先生には、算数・数学の教材を使いながら、学習内容や指導の系統性、児童生徒の主体的な学びを促すために必要感をもたせることの重要性など、小中連携教育のヒントとなる講演をしていただき、全教職員にとって学びの多い時間であった。

○6月の事業計画

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村小中学校 校長会議③ 【総合センター】 (6月23日)	1 6月の事業報告(事務局) 2 7月の事業計画について(事務局) 3 学校経営状況報告について(小・中) 4 7月の学校経営の重点について(小・中) 5 その他	○各校の運営状況の共有が図られた。
第2回野田村生 徒指導連絡協議会 【野田小学校】 (6月30日)	1. 1学期の積極的生徒指導の実践事例について 2. 小・中・高等学校における共通実践課題(あいさつ)の取組状況について 3. 小・中学校不適應児童生徒の実態と支援の経過について 4. 夏季休業中の生徒指導について ・夏休みのきまりについて 5. その他 ・野田村内及び久慈管内における事件・事故等の状況	○各校の生徒指導の状況について情報交換をすることで、生徒指導の面において連携が深められた。 ○例年より開催を2週間早めたことで、本協議会の内容を学校の夏季休業の指導に生かすことができた。

○7月の事業計画

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
<p>野田村小中連携 教育研修会② 【野田小学校】 (7月4日)</p>	<p>I 授業参観 2年算数「100より大きい数をしらべよう」 授業者 教諭 嵯峨文裕、吉田詩織 6年総合「広げよう！元気と笑顔の輪」 授業者 教諭 高橋浩司、小松山浩樹</p> <p>II 全体会</p> <p>III 部会研修会 第1部会 算数の授業について、家庭学習取組について 第2部会 総合の授業について、情報モラルについて ※第1部会講師：岩手大学教育学部 准教授 立花正男先生</p>	<p>○小学校に二つの授業を提案していただいた。特に、6年総合では、小学生に対する中学生によるソーラン指導であり、素晴らしい試みであった。</p> <p>○第1部会では、授業研究会を行い、立花先生から授業改善の視点について学ぶことができた。</p> <p>○各部会で、取組の反省と2学期の活動を確認できた。</p>
<p>野田村小中連携 教育推進会議② 【総合センター】 (7月14日)</p>	<p>1 1学期の各校の学力向上に向けた取組について 2 各校の研究推進の状況について 3 野田村小中連携教育研修会について (1) 第1回、第2回の報告及び反省 (2) 各部会の協議内容の報告と今後の予定 (3) 第3回の実施要項(案)について 4 標準学力検査(CRT)の実実施計画について</p>	<p>○学力向上の取組を中心に、家庭学習の工夫などの情報交換をもとに連携教育の一層の推進に役立った。</p>
<p>第2回野田村特別 支援教育支援員 研修会 【野田小学校】 (7月23日)</p>	<p><参加者> 野田小学校支援員：大沢、米田、明内、小林 野田中学校支援員：沢里、岩崎</p> <p>1. 講義「特別支援教育と障がいの理解について」 講師：特別支援教育エリアコーディネーター 久慈拓陽支援学校 中野喜美子先生 2. 特別支援教育についての交流・意見交換</p>	<p>○各支援員の児童生徒へのかかわりについて交流し、今後の具体的な支援について見通しをもつことができた。</p>
<p>野田村小中学校 校長会議④ 【総合センター】 (7月25日)</p>	<p>1 7月の事業報告(事務局) 2 8、9月の事業計画について(事務局) 3 学校経営状況報告について(小・中) 4 8、9月の学校経営の重点について(小・中) 5 その他</p>	<p>○各校の運営状況の共有が図られた。</p>

○8月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村就学指導委員会① 【総合センター】 (8月28日)	1 平成26年度の事業計画について 2 検査を必要とする児童生徒について 3 平成25年度に教育措置の判定等が必要とされた児童生徒の状況について 4. その他	○今年度の事業計画を確認し、児童生徒の状況の共通理解ができた。

○9月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村小中学校校長会議⑤ 【総合センター】 (9月25日)	1 8、9月の事業報告(事務局) 2 10月の事業計画について(事務局) 3 学校経営状況報告について(小・中) 4 10月の学校経営の重点について(小・中) 5 その他	○各校の運営状況の共有が図られた。

○10月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田中学校学校 公開研究会 【野田中学校】 (10月9日)	<p><研究主題> 地域の担い手としての自覚を持ち、主体的に考え、行動する生徒の育成 ～地域素材を活かした授業づくりと外部の人財の効果的な活用を通して～</p> <p><内容> 1. 公開授業(理科、音楽、英語、国語) 2. 生徒発表 創作太鼓 3. 研究発表 五十嵐主幹教諭 4. シンポジウム 「地域に貢献する人財の育成に学校教育はどうかかわっていくか」 シンポジスト 岩手大学 田代高章氏 邦楽作曲家 佐藤三昭氏 岩手県教委 藤岡宏章氏 司会 指導主事 坂本有希</p>	○県内から約120名の参会者を迎えて公開研究会を実施し、2年間の村指定研究の成果を発表した。地域素材や外部人材を効果的に活用して、地域の担い手となる生徒を育成するという先進的な研究は、参会者に好意的に受けとめられた。
第2回就学指導 委員会 【総合センター】 (10月14日)	<p><協議内容> 1. 就学予定児童の支援について 2. その他</p>	○就学前児童の状況について、情報交流することができた。
野田村小中学校 校長会議⑥ 【総合センター】 (10月23日)	<p>1 10月の事業報告(事務局) 2 11月の事業計画について(事務局) 3 学校経営状況報告について(小・中) 4 11月の学校経営の重点について(小・中) 5 その他</p>	○各校の運営状況の共有が図られた。 ○学習発表会等の成果が報告された。

○11月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村就学指導 委員会③ 【総合センター】 (11月12日)	<p>1 就学時健康診断の結果について 2 その他</p>	○対象児童生徒の指導の状況について、協議が深められた。
野田村立学校教 員視察研修 【田野畑小・中】	<p><研修内容> 1. 公開授業①(田野畑小学校) 2. 研究発表(田野畑小学校、田野畑中学校) 3. 公開授業②(田野畑中学校) 4. 分科会 (1) 学力向上部会 (2) 健全育成部会 (3) カリキュラム部会 <参加者> 野田小学校 坂川副校長、嵯峨教諭 野田中学校 菊地校長、小松山教諭 教育委員会事務局 坂本</p>	○本村と同様に、一村一小中学校の田野畑村小中連携学校公開に参加した。小中学校間の人事や小中合同の会議など参考になることが多かった視察研修であった。

野田村小中学校 校長会議⑦ 【総合センター】 (11月27日)	1	11月の事業報告(事務局)	○生徒指導の問題について共通理解を図ることができた。
	2	12月の事業計画について(事務局)	
	3	学校経営状況報告について(小・中)	
	4	12月の学校経営の重点について(小・中)	
	5	その他	

○12月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村生徒指導 連絡協議会③ 【野田小学校】 (12月2日)	1. 2学期の積極的生徒指導の実践事例について 2. 小・中・高等学校における共通実践課題(あいさつ)の取組状況について 3. 小・中学校不適応児童生徒の実態と支援の経過について 4. 冬季休業中の生徒指導について 5. 冬休みの決まりについて (参加者) 小中の副校長、生徒指導主事、養護教諭 久慈工業高校生徒指導主事 教育長、生文スポーツ班総括、指導主事	○2学期の取組について交流することができた。 ○冬休みの決まりについて見直しを図り、小中高等学校の冬季休業の指導に生かすことができた。
野田村小中連携 教育推進会議③ 【総合センター】 (12月9日)	1. 2学期の各校の学力向上に向けた取組について 2. 各校の研究推進の状況について 3. 第3回野田村小中連携教育研修会について 4. 標準学力検査(CRT)の実実施計画について 5. 「野田の教育を考える(第25集)」の作成について 6. 岩手県学力調査の結果分析について	○各学校の2学期の取組について、交流することができた。また、今後の計画について確認できた。 ○次年度の取組内容について意見をいただき、平成27年度計画づくりの参考となった。
野田村小中学校 校長会議⑧ 【総合センター】 (12月18日)	1. 12月の事業報告(事務局) 2. 1・2月の事業計画について(事務局) 3. 学校経営状況報告について(小・中) 4. 1・2月の学校経営の重点について(小・中) 5. その他	○各校の運営状況の共有が図られた。
野田村就学指導 委員会④ 【総合センター】 (12月19日)	1. 教育措置の判定について 2. その他	○教育措置を原案どおり決定した。

○1月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
食育出前教室 「ほうれん草給食 (4年)」 【野田小学校】 (1月22日)	1. 校長先生あいさつ 小原 正弘 野田小学校長 2. シイタケの話 県北広域振興局林務部 工 藤 敏 孝 様 生産者 米 田 栄 行 様 3. 児童からの質問コーナー 4. 栄養教諭 金慶暁辰 先生から献立の説明 5. 給食試食	○食を通して、地域 に対する理解が深 められた。
食育出前教室 「ホウレンソウ 学校給食」 【野田小学校】 (1月26日)	1. 校長先生あいさつ 小原 正弘 野田小学校長 2. ホウレンソウの話 久慈農業改良普及センター 佐 藤 聡 太 様 生産者 辻 鼻 久 様 3. 児童からの質問コーナー 4. 栄養教諭 金慶暁辰 先生から献立の説明 5. 給食試食	○食を通して、地域 に対する理解が深 められた。

○2月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
食育出前教室 「ワカメ給食」	1. 校長先生あいさつ 小原 正弘 野田小学校長 2. ワカメの話 県北広域振興局水産部 小野寺 光 文 様 生産者 小谷地 勝 様 3. 児童からの質問コーナー 4. 栄養教諭 金慶暁辰 先生から献立の説明 5. 給食試食	○食を通して、地域 に対する理解が深 められた。
野田村小中連携 教育推進会議④ 【総合センター】 (2月24日)	1. 平成26年度野田村小中連携教育の反省について 2. 各校の教育課程実施の重点にかかわる成果と課題について 3. 各校の校内研究の成果と課題及び来年度構想について 4. 平成26年度標準学力検査の結果考察及び今年度の学力向 上取組の成果と次年度の課題について 5. 平成27年度野田村小中連携教育推進計画について 6. 平成27年度教育課程編成上の留意点について 7. その他	○今年度の成果と課 題を踏まえ、次年 度の計画を見直 し、事業等の整理 を進めることがで きた。
野田村小中学校 校長会議⑨ 【総合センター】 (2月26日)	1 1・2月の事業報告(事務局) 2 3月の事業計画について(事務局) 3 学校経営状況報告について(小・中) 4 3月の学校経営の重点について(小・中) 5 その他	○各校の運営状況の 共有が図られた。

○3月の事業報告

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村生徒指導 連絡協議会④ 【総合センター】 (3月3日)	1. 各校における生徒指導年間反省について(各校における生徒指導の現状と課題、共通実践課題に係る成果と課題、積極的な生徒指導に係る反省等) 2. 小・中学校不適応児童生徒の実態と支援の経過について 3. 年度末・年度始休業中の生徒指導について 4. 平成26年度事業反省 5. 平成27年度事業計画(案)	○小・中・高の担当者が集まり、それぞれの学校の生徒指導に関する情報交換、協議をすることにより、生徒指導の連携を強められた。
野田村小中学校 校長会議⑩ 【総合センター】 (3月26日)	1 3月の事業報告(事務局) 2 4月の事業計画について(事務局) 3 3月及び今年度の学校経営状況報告について(小・中) 4 4月の学校経営の重点について(小・中) 5 その他	○計画に基づき、見通しに立った学校経営が図られた。

2 生涯学習文化事業の実施状況

平成 26 年度 生涯学習事業の成果と課題

1 生涯学習社会の形成

(1) 生涯学習推進体制の充実

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村生涯学習推進本部	(1) 幹事会議 期日：4月23日 場所：役場会議室 (2) 本部会議 期日：5月1日 場所：役場会議室	○生涯学習カレンダーは、久慈工業高校の行事予定も加えて、1年分で作成し、村民に周知を図った。

(2) 生涯学習の普及奨励

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村生涯学習大会	期日：2月7日(土) 場所：総合センター 内容： (1) 各種表彰(受賞者114個人・団体、出席者69個人・団体)教育振興会表彰、読書感想文等コンクール花いっぱいコンクール (2) 実践発表(3個人・団体) ①「広げよう 元気と笑顔の輪」(小) ②「目にみえない大切なもの」(小) ③「未来への扉を開く」(中) (3) 講演 演題：「夢 色々な経験と自分たちの将来像」 講師：123☆45(イズミ・ヨーコ) 来場者：180人(講演105人)	○全体を通して大きなトラブルもなく、大会を進行することが出来た。 ○実践発表及び講演とも来場者より好評であった。 ●講演の際、表彰が終了した児童・生徒が帰ってしまうことから工夫する必要がある。
生涯学習情報の提供	(1) 広報のだ「生涯学習コーナー」の発行 期日：毎月 (2) 生涯学習文化だより、村のカレンダー、のんちゃんネット 期日：随時	○事業の成果や参加者の募集などに各媒体を積極的に活用し情報提供に努めた。

2 魅力ある生涯学習の推進

(1) 家庭教育の支援

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村教育振興会	(1) 総会 期 日：7月15日 場 所：総合センター大会議室 出席者：21人（委任状含）	○教育委員会事業の紹介を行い、連携して子どもを健全に育てていくための協議を行った。
	(2) 教育振興会表彰…52個人・団体 審査会：1月30日 審査員：4人 ① 学芸表彰：23個人団体(小8、中15) ② 善行表彰：1団体(高1) ③ 健康スポーツ表彰：30個人団体(小3、中10、高10、スポ少7)	○表彰規定等に基づき推薦のあった候補者について審査を実施し、すべて被表彰者に決定した。 ○生涯学習大会において表彰を行った。
	(3) 子供会育成会の活動支援	
野田村校外指導連絡会	(1) 総会 期 日：7月15日 場 所：総合センター大会議室 出席者：20人	○前年度事業報告など、本年度事業計画について協議を行った。
	(2) 事業 ◆「小中高生の夏・冬休みの生活」の配布 ◆野田まつり期間中の夜間巡回指導 …小中高教員、中PTA、教委 34人	○夏・冬休み生活の決め事について、村民への周知をはかった。 ○問題行動等の未然防止をはかることができた。 ○夏休みで防災無線を放送し、村民から好評価を得た。

(2) 生涯各時期における学習活動の支援

ア 青少年の学習活動支援

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
青少年体験学習活動 (悠 YOU チャレンジクラブ)	(1) GO!GO!キャンプ!!! 期 日：8月30日(土)～31日(日) 場 所：県北青少年の家(二戸市) ※参加者なしのため中止	
	(2) 凧揚げをしよう！ 期 日：1月15日(木) 場 所：村民広場 参加者：15人 内 容：凧の作成をちょんなの会に依頼し、小正月行事で子どもたちを対象に凧揚げを実施した。	○子ども達に楽しんでもらうことができた。
のだキッズセンター	開設回数：64回(4月20日～3月26日) 参加延べ人数：815人 講師延べ人数：177人(実数36人) 内 容：料理、お茶、読み聞かせ、踊り、絵手紙、工作、昔遊び	○低学年を中心に、放課後の居場所としてボランティア講師に見守られながら活動する事が出来た。 ○さまざまな活動を通して、児童達の貴重な体験の場世代間交流の場となった。
岩手希望塾(県事業)	期 日：11月1日～3日 場 所：国立岩手山青少年交流の家 参加者：小野 紗恵花(野田中2年) 内 容：復興に係る意見交換や未来への提言、参加団員との交流	○体験活動を通じて交流を深めることができた。

イ 成人の学習活動支援

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
いきいきライフ	<p>(1) 「体験学習講座①」 期 日：7月10日(木)・11日(金) 場 所：総合センター 参加者：2人 内 容：アロマスプレー・スープカレー作り 講 師：NPO法人岩手未来機構 遊佐 多美子 氏</p>	<p>○台風の影響で参加人数も少なく、1日目と2日目が違う参加者であったため、参加された方のニーズに合った内容にさせていただいた。 ●申し込み制ではなかったため、人数の把握が難しく、カレー作りは中止となった。</p>
	<p>(2) エアロビクス教室 期 日：6月24日～7月29日(全6回) 場 所：総合センター 参加者：延べ74人(申し込み者数17人) 内 容：エアロビクス(運動) 講 師：日本フィットネス協会認定エアロビクスダンスエクササイズインストラクター 播磨 志保子 氏(久慈市)</p>	<p>○小学生から大人まで幅広い年代が参加し、汗をかきながら、笑顔で楽しく取り組めた ○エアロビクスに対するイメージが変わったなど、参加者からは大変満足したという声が多く聞かれた。</p>
	<p>(3) 「体験学習講座②」 期 日：8月8日 場 所：生涯学習センター 参加者：6人 内 容：コミュニケーションのコツ 講 師：NPO法人岩手未来機構 竹内 由加子 氏</p>	<p>○直感で描いた絵から心理状況を分析したり参加者同士嬉しいことや感謝できることを話したりと、自分と向き合う良い機会となった。</p>
	<p>(4) 芸術文化体験ツアー 期 日：9月16日(火) 場 所：青森県弘前市及び田舎館村 参加者：18人 内 容：岩木山神社参拝、弘前市農産物直売所「四季彩館」見学、 田んぼアート見学</p>	<p>○天候に恵まれ、素晴らしい芸術文化に触れる充実した一日となった。 ○移動等スムーズに行うことができ、産直に寄ることができ、参加者は大変満足していた。</p>
	<p>(5) 「体験学習講座③」 期 日：9月29日(月) 場 所：学習センター 参加者：4人 内 容：パーソナルカラー講座 講 師：NPO法人岩手未来機構 浅川 ふさ子 氏</p>	<p>○参加者全員が、自分に似合う色の傾向を知ることができた。満足していたようで、終了後先生に質問をする姿がみられた。 ●内容の部分で、村民の関心が薄いかと思われる</p>

	<p>(6) 鞍掛山登山・日帰り温泉ツアー 期 日：10月10日(金) 場 所：岩手県滝沢市、雫石町 近辺 参加者：16人 内 容：鞍掛山登山、休暇村網張温泉食 事・温泉に入浴、道の駅「にし ね」で買い物 ガイド：生涯学習文化班 井上主任主査 (滝沢市派遣)</p>	<p>○昨年度は雨天の為、登山する ことができなかったが、今回 は天候に恵まれ、全日程を実 施することができた。 ○秋色の山の景色を楽しみ ながら安全に登山をする ことができた。また、網張 温泉では疲れた体をゆっ くり癒すことができた。</p>
	<p>(7) ストレッチポール教室 期 日：2月10日(火) 場 所：総合センター 参加者：17人(申し込み者数18人) 内 容：ストレッチポールの正しい使い 方、ベーシックセブンの体験 講 師：日本コアコンディショニング協 会認定ベーシックインストラ クター 五林 信幸 氏</p>	<p>○参加者は、ストレッチポー ルを知らない方や、初めて 体験する方がほとんどで、 先生の話に真剣に耳を傾 けていた。 ○実際に体験してみて、効果 が実感しやすく「継続して やりたい」との声が多くあ がり好評であった。</p>
<p>第62回野田村成人式</p>	<p>期 日：1月11日(日) 場 所：総合センター 参加者：186人(うち新成人59人) 内 容：式典・記念講話、記念撮影 ※講話 演題 「恩師講話」 講 師：野田中学校卒業時学年主任 佐々木 美江子 先生 野田中学校卒業時3年A組担任 赤 沼 周 子 先生 野田中学校卒業時3年B組担任 後 藤 匡 道 先生 ※打ち合わせ会の開催：8月12日(火) ※実行委員会の開催：11月13日(木)</p>	<p>○新成人には準備段階から 積極的に動いててもらい、 スムーズに進行すること ができた。 ○講話を新成人の希望によ り恩師にして頂いたが、新 成人や保護者の方に大変 好評であった。</p>

(2) 生涯学習文化指導体制の充実

ア 指導体制の充実

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
社会教育委員会議	(1) 第1回目 期 日：8月19日(水) 場 所 総合センター児童室 参加者 9名 (2) 第2回目 期 日：3月27日(金) 場 所 総合センター児童室 参加者 10名	

イ 生涯学習文化施設の運営等

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)																																												
生涯学習センター運営事業	○利用状況 26年度の利用状況は612件、11,552人で、25年度と比較し、件数は61件、利用者数は1,606人の増となっている。また、利用件数612のうち、94.1%が使用料免除での利用である。																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">多目的ホール</th> <th colspan="2">研修作法室</th> <th colspan="2">談話室</th> <th colspan="2">合 計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>利用者数</th> <th>件数</th> <th>利用者数</th> <th>件数</th> <th>利用者数</th> <th>件数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td>377</td> <td>9,156</td> <td>115</td> <td>1,579</td> <td>120</td> <td>817</td> <td>612</td> <td>11,552</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>330</td> <td>7,890</td> <td>123</td> <td>1,489</td> <td>98</td> <td>567</td> <td>551</td> <td>9,946</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>47</td> <td>1,266</td> <td>▲8</td> <td>90</td> <td>22</td> <td>250</td> <td>61</td> <td>1,606</td> </tr> </tbody> </table>		多目的ホール		研修作法室		談話室		合 計		件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	26年度	377	9,156	115	1,579	120	817	612	11,552	25年度	330	7,890	123	1,489	98	567	551	9,946	増減	47	1,266	▲8	90	22	250	61	1,606	
	多目的ホール		研修作法室		談話室		合 計																																							
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数																																						
26年度	377	9,156	115	1,579	120	817	612	11,552																																						
25年度	330	7,890	123	1,489	98	567	551	9,946																																						
増減	47	1,266	▲8	90	22	250	61	1,606																																						
図書館運営事業	開館日数：359日 来館者数：10,315人(25年度10,242人 73人) 貸出冊数：9,215冊(25年度9,780冊 ▲565冊)																																													
	◆図書資料の収集 新規購入冊数：924冊(購入金額2,000千円) 寄贈冊数：4,044冊	○冊数が少ない分野の図書を購入するなど、計画的な購入に努めた。																																												
	◆図書館資料コピーサービス(有料) モノクロ10円、カラー50円 利用枚数：1,589枚 利用料：15,150円	○図書館利用者の利便性を図ることが出来た。																																												
	◆ブックスタート 村住民福祉課と読み聞かせボランティアあっぷっぷが直接連絡を取り合い、乳幼児健診の際に読み聞かせ等を行っている。	○住民福祉課との連携により、効率よく親と子どもに読書の大切さを伝えることができた。																																												

	◆県立図書館団体借入 0件	
	◆読書感想文等コンクール ※募集期間中 募集期間：9月1日～1月23日 感想文、標語、感想画、小説 応募点数：感想文31点(小20点、中8点、高3点) 標語72点(中) 感想画26点(小24点、中2点) 小説6点(中6点) 計135点	・感想文(5区分) 入賞24点 ・標語(1区分) 入賞6点 ・感想画(4区分) 入賞20点 ・合計50点
アジア民族造形館運営事業	開館期間：平成26年4月1日～12月30日 来館者数：689人(△161人18.9%減) 入館料：139,250円(8,950円6.0%減)	●前年を下回る入場者数となった。
部落公民館維持管理補助事業	◆1,893千円の補助(22館分) ◆うち改修費補助は936千円	○各公民館の維持管理補助、下明内の改修費補助を行った。

3 個性ある芸術文化の創造

(1) 芸術文化活動の振興と環境整備

ア 芸術文化団体への支援

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
野田村芸術文化協会 支援事業	野田村芸術文化協会への助成額 800 千円 うち、加盟団体に対する助成額 454.4 千円 (17 団体中 13 団体に交付)	○加盟団体の自主的な 芸術文化活動に対し て助成を行った。

イ 芸術文化に対する意識の高揚

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
第 50 回野田村総合文化祭	公演部門 期 日：10 月 26 日 場 所：村体育館 出 演：12 団体 14 演目（出演者 169 人） 来場者：381 人	○当日はスムーズな運営 が出来たとともに、村 芸文団体の日頃の活動 の成果を示すことが出 来た。 また、小中による合 同演奏は非常に好評で あった。
	展示部門 期 日：11 月 1 日～11 月 2 日 場 所：村体育館、総合センター 出展者数：26 個人・団体 出展総数：1,230 点 来場者数：1,628 人	○出品点数は横ばい、若 しくは若干減少傾向に あるものの、震災支援 の一環として、村外団 体より様々な趣向を凝 らした展示、出店の協 力を得ることが出来、 文化祭を盛り上げるこ とが出来た。
優れた舞台芸術鑑賞事業	◆野田村芸術鑑賞会 出演団体：わらび座 パフォーマンスバンド響 タイトル：『風の又三郎』 (村芸術文化協会主催) 期 日：8 月 27 日 場 所：村体育館 来場者数：約 476 人 内 容：演劇	○生の舞台の迫力を間近 で感じ、演劇終了後には 大きな拍手が起こり、演 劇の素晴らしさを味わ うことができた。

(2) 文化財の保護

事業名	実施状況			成果(○)と課題(●)
埋蔵文化財発掘調査事業	遺跡名	箇所数	備考	○滝沢市からの派遣職員を得て、開発事業に係る埋蔵文化財の包蔵地等の発掘調査及び確認調査など9件行った。
	中平遺跡	2	個人住宅	
	平清水Ⅲ遺跡	1	道路改良事業	
	野田城	1	下水道工事	
	上泉沢遺跡	1	電柱移設	
	その他	4	個人住宅 太陽光発電 携帯電話中継局 下水道工事	
	計	9		
民俗資料の保存管理	資料室の一般開放 小学生の見学はあったが、一般公開は未実施である。			●収蔵物の点検・精査等が課題である。

3 野田村生涯スポーツ行政の実施状況

平成 26 年度野田村生涯スポーツ行政の成果と課題

1 生涯スポーツ推進体制の整備、充実

(1) 各種会議の開催

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
スポーツ推進委員会議	期日：5月9日(金) 9月11日(木) 2月20日(金) 場所：総合センター 対象：スポーツ推進委員 6名 内容：スポーツ推進委員活動計画について H26 生涯スポーツ行政の方針と重点施策の説明	○平成 26 年度生涯スポーツ事業の周知と協力依頼することができた。 ○生涯スポーツ事業に対する貴重な意見をいただいた。
村民体育大会運営委員会議	期日：8月18日(月) 場所：総合センター 内容：村民大運動会について	

(2) 各種会議等への参加

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
管内各市町村教育委員会生涯スポーツ担当者会議	期日：4月22日(火) 場所：久慈合庁 対象：管内市町村教育委員会生涯スポーツ担当者 内容：管内市町村生涯スポーツ事業教育事務所の管内事業の説明	○生涯スポーツ行政について情報交換の場となった。
平成 26 年度市町村生涯スポーツ担当者研修会	期日：4月25日(金) 場所：盛岡市 対象：担当 1 名 内容：スポーツ行政に関する講演、情報交換	
久慈地区スポーツ推進委員協議会総会	期日：5月23日(金) 場所：久慈合庁 対象：スポーツ推進委員 3 名、担当 1 名 内容：平成 26 年度総会	
管内生涯スポーツ担当者等研修会	期日：7月31日(木) 場所：久慈市民体育館 対象：スポーツ推進委員 1 名、担当 1 名 内容：スポーツ推進委員に関する講演、スピードトレーニングの実技研修	

(3) 広報活動の充実

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
「生涯スポーツだより」 「スポーツ掲示板」の発行	期日：随時 対象：全戸配布	○事業等に合わせ、発行することができた。
広報・村のカレンダー掲載 依頼	内容：スポーツ少年団加入のお知らせ 各大会開催等のお知らせ 各スポーツ教室のお知らせ等	

2 スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進

(1) スポーツ推進委員研修・会議

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
岩手県スポーツ推進委員協議会市町村代表幹事会	期日：5月16日(金) 場所：盛岡市 対象：スポーツ推進委員1名 内容：平成26年度総会	○県及び管内スポーツ推進委員の情報交換の場となり、交流親睦が図られた。
久慈地区スポーツ推進委員協議会総会	期日：5月23日(金) 場所：久慈合庁 対象：スポーツ推進委員3名、担当1名 内容：平成26年度総会	○研修会等に参加することによって、スポーツ推進委員としての資質の向上になった。
市町村スポーツ推進委員及び社体担当者合同視察研修	期日：7月11日(金)～12日(土) 場所：山形県 米沢市 対象：スポーツ推進委員2名 内容：東北地区スポーツ推進委員研修会	
管内生涯スポーツ担当者等研修会	期日：7月31日(木) 場所：久慈市民体育館 対象：スポーツ推進委員1名、担当1名 内容：スポーツ推進委員に関する講演、スピードトレーニングの実技研修	
第55回全国スポーツ推進委員研究協議会岩手大会	期日：9月25日(木)～26日(金) 場所：盛岡市 対象：スポーツ推進委員1名 内容：スポーツ推進委員の目指す方向や地域スポーツの今日的な課題についての研究協議	
スポーツ推進委員自主事業 世代間交流パークゴルフ大会	期日：11月9日(日) 場所：アジアの広場 対象：小学生以上 3チーム(約20名) 内容：大会運営(共催により重複記載)	○村民体、野田村SCDと共催で開催することができた。

3 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進

(1) 野田村民体育大会

事業名	主旨・主な内容	成果(○)と課題(●)
第27回野田村民体育大会の開催	「第28回壮年ソフトボール大会」 期日：5月25日(日) 場所：山村広場 参加：8チーム(約120人)	○各協会等の協力を得てスムーズな運営が図られた。 ○震災前の地区で開催することにより更なる絆が深まり交流が図られ、併せて健康増進につながった。
	「第25回8地区対抗野球大会」 期日：9月16日(火)～28日(日) 場所：野球場 ※全てナイター 参加：8チーム	
	「第60回野田村民大運動会」 期日：10月5日(日) 場所：山村広場 参加：約400名	
	「第2回世代間交流パークゴルフ大会」 期日：11月9日(日) 場所：アジアの広場 参加：3チーム(約20名)	
	「第10回どこでもテニポン大会」 期日：1月21日(水),23日(金) 場所：村体育館 参加：8チーム(約80人)	
	「第7回8地区対抗ソフトバレーボール大会」 期日：2月19日(木)～3月5日(木) 場所：村体育館 参加：8チーム(約180名)	

(2) 各種スポーツ・レクリエーション大会

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
悠YOUスポーツクラブ事業	「小学生水泳教室」 期日：8月4日(月),5日(火) 場所：村民プール 参加：延べ43名	○各種スポーツ教室の開催により技術の向上や交流が図られた。
	「歩いて発見！野田のいいところ！ウォーキング教室」※住民福祉課との共催 期日：12月7日(日) 場所：村内 参加：35人	

	<p>「スケート・海の科学教室」 期日：1月7日(水)～8日(木) 場所：県北青少年の家(二戸市) 水産科学館マリエント(八戸市) 参加：5名</p>	
	<p>「スキー・スノーボード教室」 期日：2月21日(土)、28日(土) 場所：くのへスキー場 参加：19名</p>	
地域コミュニティ再生支援事業	<p>「e-スポ広場」 期日：毎週木曜日(4月～3月) 場所：野田村体育館 参加：開催回数43回 延べ1,072名</p>	○被災した人も被災しなかった人も運動を通じて体力の向上と交流を図ることができた。
その他大会	<p>「第25回村長杯争奪ゲートボール大会」 期日：5月18日(日) 場所：工業高校下ゲートボール場 参加：8チーム(40名)</p>	○恒例の大会に楽しんでプレーしていた。 ○ゲートボール協会より大会運営の協力を得た。
	<p>「第4回教育長杯中学生ソフトテニス大会」 期日：7月5日(土) 場所：総合運動公園テニスコート 工業高校テニスコート 参加：延べ120名</p>	○テニス競技の活性化や競技技術の向上が図られる。
	<p>「第24回野田村ナイター野球大会」 期日：7月15日(火)～10月28日(火) 場所：ライジングサンスタジアム、山村広場 参加：7チーム</p>	
	<p>「平成26年度野田村部落対抗野球大会」 期日：8月14日(木)～15日(金) 場所：ライジングサンスタジアム 参加：10チーム</p>	
	<p>「第14回鶴鶴杯高校生ソフトテニス大会」 期日：9月20日(土)、21日(日) 場所：総合運動公園テニスコート 工業高校テニスコート 参加：延べ270名 男9チーム 女7チーム</p>	
	<p>「第3回村長杯中学校ソフトテニス大会」 期日：10月4日(土)、5日(日) 場所：総合運動公園テニスコート 工業高校テニスコート 参加：延べ180名 男14チーム 女12チーム</p>	

	<p>「第 15 回村長旗クラブ野球選手権大会」 期日：10 月 19 日(日)、26 日(日) 場所：ライジングサンスタジアム 参加：6 チーム</p> <p>「久慈地区高校錬成大会」 期日：11 月 3 日(月) 場所：総合運動公園テニスコート 工業高校テニスコート 参加：延べ 100 人 男 6 チーム 女 9 チーム</p> <p>「第 36 回久慈地区スポーツ少年団交流大会 軟式野球競技」 期日：11 月 15 日(土)、16 日(日) 場所：ライジングスタジアム 参加：8 チーム 延べ 173 人</p> <p>「第 27 回久慈地区スポーツ少年団交流会 (綱引き)」 期日：12 月 21 日(日) 場所：村民体育館 参加：19 チーム 延べ 311 人</p> <p>「第 19 回村長杯中学校バレーボール大会」 期日：2 月 28 日 (土) 場所：村体育館 参加：管内中学校 10 校 (女子)</p>	<p>○久慈地区スポーツ少年団の大会が持ち回りにより野田で開催された。各競技の審判の方や各市町村の協力により無事終了することができた。</p>
<p>復興支援事業</p>	<p>「パークゴルフ用具工業会第 3 回復興支援事業」 期日：7 月 29 日(火) 場所：アジアの広場 参加：児童生徒 22 名</p>	<p>○復興支援事業の一環として、パークゴルフ用具等の寄附、体験指導や大会を行い、競技の楽しさを多くの子ども達が学んだ。</p>
<p>復興支援招待事業</p>	<p>「ジュビロ磐田サッカー試合観戦招待」 期日：8 月 2 日(土)～4 日(月) 場所：静岡県磐田市 参加：児童 3 名 引率 3 名</p>	<p>○磐田市に招待されたことによりサッカーはもとより、様々な体験を通し成長した。</p>

(3) 体育協会・スポーツ少年団の援助育成

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
体育協会の援助育成	<ul style="list-style-type: none"> ・運営活動費補助 9団体 687千円 ・社会人野球岩手県大会運営補助 9月20日(土)～22日(月) 18チーム 230千円 ・第18回北リアスバレーボール大会開催補助 11月16日(日) 66チーム 300千円 	<p>○団体活動の援助育成が図られた。</p> <p>○各大会の開催により少年団員の交流と併せ技術の向上が図られた。</p>
スポーツ少年団の援助育成	<ul style="list-style-type: none"> ・運営活動費補助 6団体 258千円 ・第33回教育長杯争奪少年野球大会 9月27日(土)、28日(日) 6チーム ・第25回久慈地区少年ふれあい柔道剣道大会 10月11日(土) ・野田村スポーツ少年団本部長杯野球新人大会 11月1日(土)～2日(日) 6チーム ・世代間軟式野球交流戦(スポ少 vs 野球OB) 6月7日(土) 	<p>●体育協会・スポーツ少年団とも教育委員会で事務を行っており自主的運営に向けて組織の強化が望まれる。</p>

4 社会体育施設の整備と活用促進

事業名	実施状況	成果(○)と課題(●)
総合運動公園の効率的活用	<p>(大会招致)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三陸学童軟式野球大会九戸郡予選 6月29日(日)、7月5日(土) 8チーム ・第51回JABA 毎日旗争奪秋季野球大会兼第20回JABA 東北地区連盟会長旗争奪岩手県予選大会 9月20日(土)～22日(月) 18チーム <p>(総合運動公園の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球場 (4～11月) 利用日数 132日 (前年度 125日) 利用者数 10,080人 (前年度 8,854人) ・テニスコート (4～3月) 利用日数 189日 (前年度 172日) 利用者数 8,949人 (前年度 7,512人) 	<p>○各種大会が招致され積極的な利用が図られている。</p> <p>○総合運動公園の利用日数と利用者数は前年度より増加。村内外問わず有効に活用されている。</p>

<p>社会体育施設の効率的な活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・村体育館（4月～3月） 利用日数 327日（前年度 327日） 利用者数 22,851人（前年度 21,911人） ・山村広場（4月～11月） 利用日数 132日（前年度 119日） 利用者数 5,544人（前年度 4,946人） ・村民プール（6/14～9/14） 利用日数 82日（前年度 66日） 利用者数 1,866人（前年度 2,402人） 	<p>●岩手国体や高速道路の開通に向け、更なる利用促進に努め、生涯スポーツ事業及び村の活性化を図る必要がある。</p>
<p>社会体育施設の整備</p>	<p>(体育施設整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野球場スコアボードSB表示修繕 696千円 ・テニスコート照明修繕 216千円 ・運動公園キュービクル修繕 410千円 ・野球場散水設備修繕 47千円 ・運動公園下水道修繕 322千円 ・山村広場手洗場修繕 33千円 ・芝刈機修繕 197千円 	

【 参考 】

第 26 回野田村民体育大会順位結果 (H25)

全体 順位 (参考)	計	8 地区名	種 目 別 順 位					
			壮年ソフト ボール	野 球	パーク ゴルフ	運動会	テニポン	ソフトバ レーボール
4	23	新 山	7	1	3	4	7	1
2	21	城 内 上	3	5	2	5	3	3
1	19	城 内 中	2	5	5 (棄権)	3	2	2
8	37	城 内 下	5	5	5 (棄権)	7	8	7
2	21	明内横合	1	4	1	2	5	8
5	24	泉沢中平	8	2	4	1	4	5
6	29	米田南浜	6	3	5 (棄権)	7	1	6
7	30	玉 川	4	5	5 (棄権)	6	6	4
			25/5/12	7/16~29	9/8	10/6	26/1/22.24	2/20~3/6

第 27 回野田村民体育大会順位結果 (H26)

全体 順位 (参考)	計	8 地区名	種 目 別 順 位					
			壮年ソフト ボール	野 球	運動会	パーク ゴルフ	テニポン	ソフトバ レーボール
5	28	新 山	7	1	6	4 (棄権)	8	2
1	15	城 内 上	1	3	5	4 (棄権)	1	1
4	24	城 内 中	5	5	3	4 (棄権)	3	4
7	38	城 内 下	8	5	7	4 (棄権)	6	8
3	22	明内横合	2	5	2	1	5	7
2	20	泉沢中平	3	2	1	4 (棄権)	7	3
6	29	米田南浜	6	4	8	3	2	6
4	24	玉 川	4	5	4	2	4	5
			26/5/25	9/16~28	10/5	11/9	27/1/21~23	2/19~3/5